

カテゴリ	分類	重要度	内容	用例	NG例	解説
HTML	全般	3	見出しタグ・リストタグ・段落タグ・表タグを使い、文章構造の考慮を徹底する。			
HTML	全般	2	節を表すなど、文章構造上正しい場合を除き、ブロックレベル要素をブロックレベル要素で二重に囲むのを避ける。デザイン上やむを得ない場合はその限りではない。	<pre><div class="service"> <h2>弊社のサービス</h2> <p>説明</p> </div></pre>	<pre><h2>弊社のサービス</h2> <div class="service"> <p>説明</p> </div></pre>	
HTML	全般	3	廃止予定タグは使用しない。	 <i> など		
HTML	全般	3	スタイル情報はタグに直接設定せずCSSで制御する。		<div style="clear:both"></div>	
HTML	全般	3	全てのタグと属性は小文字で記述する。	<input type="submit" />	<input type="SUBMIT" />	
HTML	全般	3	フレーム(frame)は使用しない。			
HTML	全般	3	空要素タグは終了タグをつける。	 <hr />	 <hr>	
HTML	全般	3	属性値はすべて引用符(ダブルクォーテーション)でくくる。			
HTML	全般	3	属性を省略しない。	<td nowrap="on">	<td nowrap>	
HTML	全般	3	divタグやpタグ等、空のボックスを作らない。		<div></div>	
HTML	全般	2	JavaScriptでname属性を使用する場合はid属性もつける。			
HTML	全般	3	一つの単語内に空白を挿入して文字を揃えたり、強制改行したりしない。			
HTML	全般	3	メタ記号は実体参照で記述する。	& 、 	& , スペース	
HTML	全般	3	align属性は利用しない	<pre><div class="more"> </div></pre>	<pre><div align="right"> </div></pre>	
HTML	前提条件	3	文字エンコード	UTF-8		
HTML	前提条件	3	改行コード	CR+LF		
HTML	前提条件	3	利用できる拡張子	.html .php .cgi .css .js .gif .jpg .png .inc		
HTML	前提条件	3	HTML仕様	XHTML 1.0 Transitional		
HTML	前提条件	3	XML宣言	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>		
HTML	前提条件	3	名前空間	<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja">		
HTML	前提条件	3	文字コード	<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=文字コード">		
HTML	命名規則	3	ID名 / Class名をつける場合は、その付与するタグの内容を適切に表すようにする。位置情報(leftやbottom)やデザイン情報(iconやredなど)は許容しない。ただしその内容が適宜な場合はその限りではない。	<pre><div class="search"> <ul id="globalNavi"> </pre> <p>特例</p> <pre><div class="left"><div</pre>	<pre><div class="left"> <ul id="headerMenu"> </pre>	
HTML	命名規則	3	ID/class名に余計な情報を書かず、極力シンプルにする。ID/Classガイドラインを参照すること。	<pre><div class="search"> <div class="service"></pre>	<pre><div class="searchField"> <div class="serviceMenu"></pre>	

カテゴリ	分類	重要度	内容	用例	NG例	解説
HTML	命名規則	3	ID名 / Class名は必ずアルファベット小文字から始めるものとし、単語の区切りは大文字にする。また、単語は適宜略してもよい。アンダースコアやハイフンは利用しない	<div id="subNavi">	<div id="subnavigation"> <div id="sub=Navi"> <div id="sub_Navi"> <div id="01sub_Navi">	
HTML	命名規則	3	<ul style="list-style-type: none"> ファイル名は半角31文字以内とする。 ファイル名の命名規則は利用している場所(主に親ID)_そのファイルの内容を表す名前_画像種別_拡張子とする。 システムで動的に生成するなど適宜表せない場合は、ファイルを表す名前をシステムから発行されるIDに代替してもよい。 ファイルを表す名前が他のファイルとかぶる場合は、名前の後に連番(2桁)を付与してもよい。 1区切りで6文字以上の場合は省略してもよい ファイル名内では大文字を利用してはいけない 	header_gnavi_banner.jpg contents_search_btn.gif footer_copyright.gif Shared_rss_icon.gif Shared_rss_icon_large.gif Shared_logo.gif	headerBanner.jpg searchbottun01.gif copyright.gif rss01.gif rss02.gif logo.gif	ディレクトリを閲覧したときに目的の画像を探しやすく整理するため
HTML	命名規則	3	<p>ファイルの保存場所は</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体で共通して利用できるファイル /doc_root/common/images or css or js or flash/ 各ページに依存する画像 /ページが存在するディレクトリ/images or css or js or flash/ <p>※MTの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 各ページに依存する画像 	/common/css/styles.css		
HTML	命名規則	3	<p>ファイルの保存場所は</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体で共通して利用できるファイル /doc_root/shared/images or css or js or flash/ 各ページに依存する画像 /ページが存在するディレクトリ/images or css or js or flash/ <p>※MTの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 各ページに依存する画像 			
HTML	a	3	同一ドメイン以外のファイルはすべて別ウィンドウで遷移し、classにextRefを付与する。			
HTML	a	3	同一ドメイン以外のファイルはすべて別ウィンドウで遷移する。ただしPDFファイルは除く。 リンクの書式は遷移先のページタイトルをラベルとし、前方に矢印アイコンを設置し、後方にリンクの挙動やファイルの種類アイコンを付与する。			
HTML	a	3	<p>リンクを行う場合のhref属性のルールは以下とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常サイト内 /からの絶対参照 SSLを利用しているページ http://ドメイン/からの絶対参照 <p>index.htmlへのリンクは/で必ず閉じ、index.html記述を省略</p>	 	 	
HTML	br	3	デザイン目的で改行タグを連続して使わない。また、文章構造上リストタグが必要とする場所をbrで代替しない	 名前を記入してください。 住所を記入してください。 電話番号を正しく入力してください。 	名前を記入してください。 住所を記入してください。 電話番号を正しく入力してください。 	